

教員名(Name) : 上田 功 (Ueda, Isao)

***ゼミタイトル Seminar Title**

歴史的に見た英語の姿

***授業概要 Outline of the contents**

英語を専攻する者にとって、運用能力は大切であるが、それに加えて英語が背景とする文化や社会、そして英語そのものに対する深い理解が求められる。この理解が取りも直さず、コミュニケーションの大きな武器になるからである。

この授業では、英語の歴史を辿りながら、英語の発音、文法、語彙等の変遷を概観する。その一環として、ベオウルフ、カンタベリー物語、シェイクスピア、欽定訳聖書等、各時代を代表するテキストからの抜粋を読むことになるが、深く読むことはせず、あくまでもその時代の英語に触れるのが目的である。さらに語彙の意味変化の万華鏡であるオックスフォード英語辞典を引いてみたり、語の意味変化の法則性、アメリカ英語の語彙の特殊性やアメリカ中西部の地名の起源等、発展的な問題も取り上げる。

以上のように、英語の歴史を鳥瞰し、英語に対する理解をさらに深めることによって、英語使用者として、より深い教養が修得できる所以である。

***授業の形式 How the class is conducted**

基本的には下記のテキストを精読する。輪番に担当を指名し、全員で内容についてのディスカッションをおこないながら授業を進めていく。教科書に含まれている練習問題も積極的に消化したい。

***課題・成績評価基準 Requirements and Assessment**

毎回の予習や授業への積極的な参加、随時課せられる課題、学期末の take-home exam 等により、総合的に成績評価をおこなう。

***その他 Others**

教科書は以下のものを使用する。

- ・ Gerber, P. L. (1984) *The Growth of English*. (成美堂リプリント)